

## 6 / 17 校長室より No.38

〈今日の壮行式で、選手諸君に次のような激励の言葉を送りました〉

いよいよだ。いよいよ明日から地区大会。ふり返ればつらいこともあったろう、苦しいこともあったろう。真夏の照りつける太陽、むっとするような暑さの体育館、冬のかじかんだ手、足がもつれるまでのダッシュ、階段を上がるのもやっとの筋トレ。それから、思うようなプレーができなくて悩んだ日々やチーム内の不協和音…。しかし、今となってはそれらもいい思い出。きっと自分たちの成長のバネとなっているはずだ。今まで自分が、自分たちが身につけてきた技術、力、チームワークを思う存分発揮してきてほしい。

明日に向けてのキーワードは二つ。一つは「感謝」、もう一つは「あきらめない心」だ。

まず、お家の方に感謝してほしい。君たちの体を心配し成長を一番応援してくださったのは、まちがいなくお家の方々である。改めて感謝しなければならない。次に厳しい練習を共に乗り越えてきたチームメートや支えてくれた後輩。次に休日も返上して熱心に指導してくださったコーチや顧問の先生。そして、学校後援会を中心に、君たちの活動を支えていただいている地域の皆様にも是非感謝を。これらの人たちの“思い”や“願い”を正面から受け止め、その意気に感じて全力でプレーしてこなければならない。



二番目に「あきらめない心」について。試合は最後までわからない。過去にも「もうこれで終わりか・・・」と思っても、希望を捨てず食らいついて大逆転したという例を私は少なからず知っている。スラムダックの安西先生ではないが「あきらめたらそこで試合終了」である。また、途中であきらめて全力を出さないというのは、相手に対しても失礼に当たる。「Never give up」の精神で最後の最後まで全力を傾けて戦ってこそ、勝利の女神はこちらを向いてくれるし、相手をリスペクトすることにもつながるのではないか。

キーワードは「感謝」と「あきらめない心」。この二つを胸に、明日は各試合会場で正々堂々と戦ってきてほしい。飯豊中の若鷲たちの健闘を祈る。



〈PTA 育成部の方より激励の品をいただきました〉